

人や自然にやさしいエコガーデンをめざして

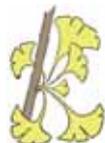
— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま



知っていますか？

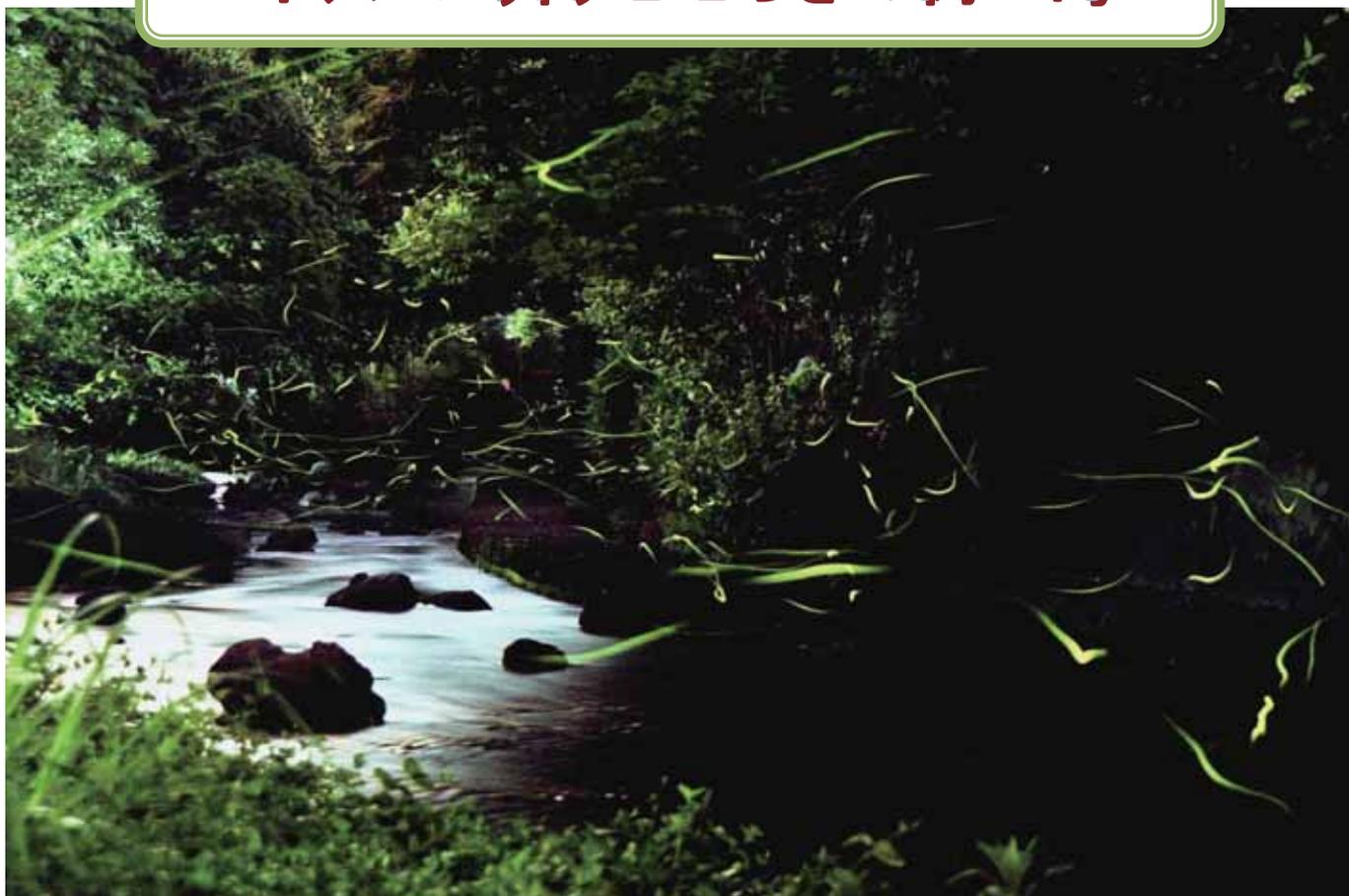
市の鳥「カワセミ」市の木「イチヨウ」市の花「三島桜」



第 2 7 号
2016/5/1

- 特集「ホタルが舞うせせらぎの街三島」・・・P2、P3
- 環境活動紹介(北上えこくらの環境活動)・・・P4

ホタルが舞うせせらぎの街三島



源兵衛川に舞うホタル 志村肇氏撮影

クイズ：三島の街なかで見られるホタルは何ホタルでしょうか？

～答えはP3へ～

昭和30年半ば頃までは、市内・中郷地区の辺りは田んぼが多くいくつもの清流が柔らかな水音を立てて流れていました。初夏、日暮れになると辺り一面にホタルが舞い出て、雨戸を開け放った家の中まで入って小さな光を灯していました。外に出ると草の生い茂った川沿いの夜道は、数えきれないほどたくさんのホタルの乱舞で、手のひらやうちわで目の前のホタルを払いよけながら歩いたものでした。揚水型企业の進出や道路建設が進む中で、ホタルの姿は次第に減り、あの頃歩いた道の辺りにその姿を見ることは無くなってしまいました。



しかし「三島ホタルの会」などの熱意ある人々の努力により、三島市内では少しずつ「ホタルを見たよ～」という場所が増えて来ました。エコライフみしま第27号では、三島のホタルを特集しました。

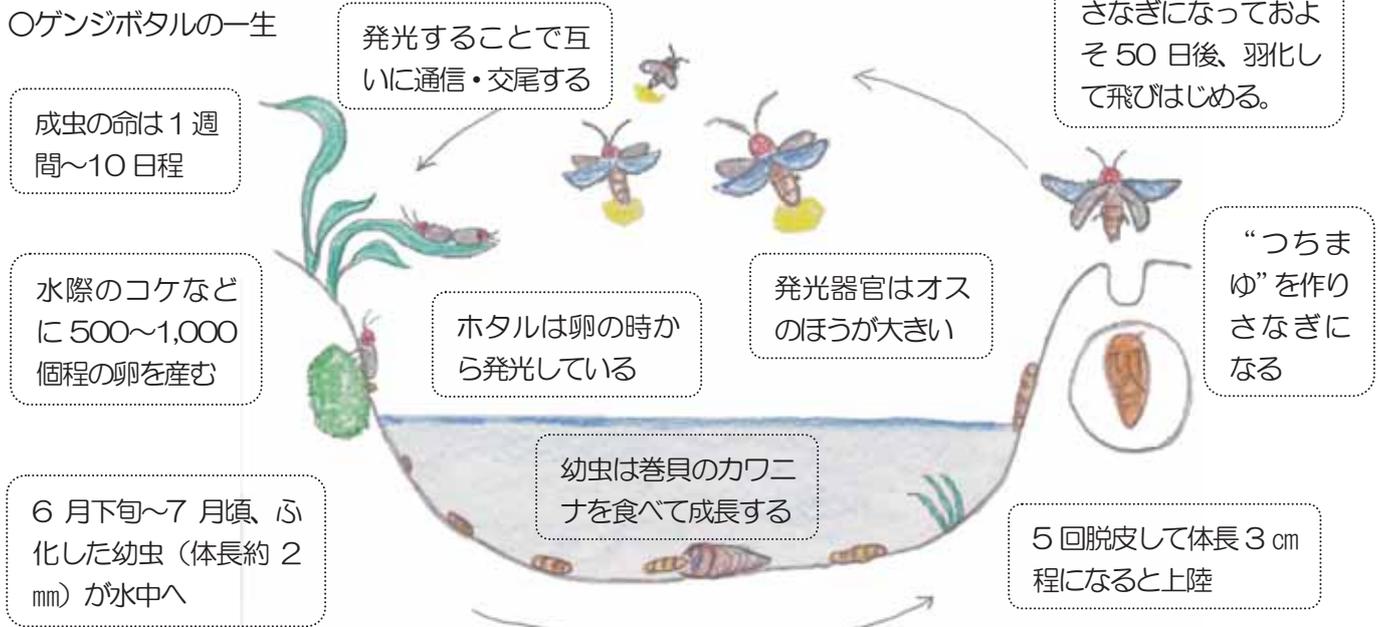
《ホタルの基本情報》

○ホタルの種類

三島市でよく見られるホタルはゲンジボタルという種類です。体長は15mm程で、頭の後ろの赤い部分に黒い十字架のような模様があるのが特徴です。ホタルは日本国内に約50種類ほどいますが、幼虫が水中で過ごす種類はゲンジボタル、ヘイケボタル、クメジマホタルの3種だけです。



○ゲンジボタルの一生



※川の汚染がひどくなったり、天敵となるコイやモクズガニ、サワガニが増えると、エサとなるカワニナがいなくなり、結果としてホタルもすむことが出来なくなります。

～横浜ゴム株式会社 三島工場 『三島蛍を守る会』の活動～



横浜ゴムでは大切な地球を守るため、植樹活動「YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト」を行い、地域の安全や環境、生物多様性を守る活動をしています。

三島工場では9年前に森をつくりました。森のまわりには農業用水路があり、清掃や水辺の草取りなど、用水路をきれいにする活動も行っています。

その用水路で6年程前に10匹程度のゲンジボタルが見つかったことをきっかけに、ホタルをいつまでも見られるように、ホタルが住みやすい環境づくりをしていこうと社員の有志で『三島蛍を守る会』を工場に作ったとのことです。

昨年、工場の近隣自治会に声をかけ、初めて開催した蛍鑑賞会には多くの方が訪れ、楽しい時間を過ごしたようです。今後も継続的にホタルが住める環境を維持していきたいとのことです。

《三島ホタルまつり》

三島市では毎年6月に三島ホタルまつりと称して、楽寿園と源兵衛川、三島商工会議所TMOホール、白滝公園周辺、笑栄通りをそれぞれ会場とする四つのお祭りがくりひろげられます。

その中でも、楽寿園と源兵衛川を会場として行われる三島ホタルまつりでは、源兵衛川（いずみ橋～広瀬橋）がホタルを見るために上流から下流への一方通行になります。また、楽寿園をメイン会場に、売店や音楽の演奏が行われます。クライマックスはチャンスが二度ある抽選会で、最後にホタルを放すと来場者から歓声が上がります。三島駅から数分という近いところでホタルまつりが行われるため、県内外からのお客様も多く、賑やかな一夜となります。



H27年度の三島ホタルまつりの様子
(会場：楽寿園)

三島ホタルまつりに関するお問い合わせは、下記のとおりです。
三島ホタルまつり実行委員会
(電話：941-8278)
三島市商工観光課(電話：983-2656)

◎平成28年度の日程(予定)◎

平成28年6月4日(土)開催

- ・一番町ホタルまつり(三島商工会議所TMOホール)
- ・リバーサイドほたるby芝町(白滝公園周辺)

平成28年6月11日(土)開催

- ・三島ホタルまつり(楽寿園・源兵衛川)
- ・リメンバー六反田(笑栄通り)

～ホタル観賞時のお願い～

ホタルはとても小さな生き物です。強い光を嫌う性質があります。

また、三島市にはホタルが住宅街のすぐ近くでも見られる場所があります。特に、ホタルが一番飛び出す時間帯は夜8時ごろといわれていますので、ホタルを観賞する際は、

- ・ホタルを捕まえない
- ・強い光で照らさない
- ・大きな物音を立てない など、

ホタルや近隣住民の方への配慮をお願いします。

《三島でホタルの見られる場所》

- ・源兵衛川(上流域・水の苑緑地周辺)
- ・ほたるの里(泉町・楽寿園南出口近く)
- ・御殿川 ・桜川 ・境川
- ・沢地川 ・山田川 など

静岡県立三島南高等学校の取り組み～三南トープ～

静岡県立三島南高等学校では、開かれた学校を目指し、種の保存や地域との交流を目的に、敷地の北側に水辺の環境を再現したピオトープ・「三南トープ」を設置しています。

三南トープで使用している水は、以前は地下3～4mからポンプで汲み上げていました。鉄分が多く泥が混ざる水質だったので、ろ過のためのろ過槽の洗浄が大変でしたが、平成26年11月に井戸の改修工事を行い、地下48mの水脈を掘り当てたので、水質が改善され透明度が高くなりました。平成27年5月末にはホタルが舞っている様子が観察されたそうです。

平成27年8月には4年に1回のリフレッシュ作業が行われ、新しく湿地帯を設け、ミシマバイカモを植えました。サイエンス部の生徒が水を流す管を土中に設置し水の流れを作ったり、鳥にいたずらされないようにネットを張ったりと色々工夫しながら三南トープを育てていました。水の流れを作ることで今までと異なった動植物が見られることが期待されるとのことで、生徒たちもこれからが楽しみと目を輝かせていました。



クイズの答え：三島の街なかで見られるホタルはゲンジボタルです。

北上えこくらぶ（北上地区エコリーダー）の活動紹介

北上えこくらぶは「ちょっぴりエコ、楽しくエコ」を合言葉に、沢地川沿いの花壇作りや、北上文化プラザでの環境講座の実施といった、地域に根付いた環境活動を行っています。

平成27年度は、北上小学校および沢地小学校の自然教室での自然観察会や、沢地小学校の校庭での自然観察会なども実施しました。

活動内容

沢地川沿い花壇の整備



沢地幼稚園児と合同の球根の植付けを実施しました。



毎月第一日曜には除草や植付け等を行っています。

自然観察会



箱根の里で植物の観察を行ったり、校庭でドングリをつける木の葉や実の観察を行いました。



北上文化プラザでの環境講座



エコたわし作りや廃食用油石けん作り等の環境講座を実施しました。

平成28年度も様々な活動を実施する予定です。自分たちに出来ることを続けていくことでエコの環を繋げていきます！



皆さんも地域での環境活動に参加しませんか。お問い合わせは下記、環境政策課へ。

【編集後記】 設置したら買い替えるまで電気を使い続ける家電、冷蔵庫。購入金額はもちろん年間電気料も気になる場所。

年間電気料が安いということは当然メーカーが節電設計にしているというコトですが、購入価格が高い大容量のモデルほど年間電気料が安いのです。600Lくらいだと年間電気料が約五千円なのですが、300Lでは約一万円。家族が少ないとか、食品を買い過ぎて無駄にしないように小さい冷蔵庫にしたいと思っても大きい方が長い目で見て得をする？メーカーさん、つつましく暮らす人の家計にやさしい家電を作って下さいね！（さ）

編集スタッフ（市民ボランティア） 青木博・飯田喜一
岩田明彦・大村洋子・柴原俊介・鈴木祥子・羽田妙子・堀江紗代

第27号（5月・10月の年2回発行）

平成28年5月1日発行

〒411-0858 静岡県三島市中央町 5-5

三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728

E-mail:kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用して発行しています。
エコライフみしまも再生可能な資源古紙です。